

平成 22 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 山 村 研 一
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 福 永 健 司
(電 話 番 号 078-306-0590)

尿サンプルによる癌診断の測定系に関する特許が米国にて成立

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：山村研一、熊本県熊本市)は、尿サンプルによる癌診断に利用される高感度免疫学的測定系に関する特許が、米国において成立しましたので、お知らせいたします(特許番号 US7,700,741)。

このたび成立した特許は、尿中に排泄されるジアセチルスペルミンと癌の関連性が高いことに着目し、尿サンプルによる癌診断方法を確立すべく開発したジアセチルスペルミンに対する親和性の高い新規なモノクローナル抗体および高感度、簡便かつ非侵襲的な癌診断の測定系に関する特許です。なお、本測定系に関する特許は、すでに日本国内において成立しています。

本測定系を用いたビジネスの進捗状況は、2008年7月8日に当社と診断薬メーカーで締結いたしました「尿サンプルによる癌診断に関するライセンス契約」に基づき、現在も体外診断薬として上市に向け進行しております。

本特許が米国で成立したことにより、当社の開発した尿サンプルによる癌診断の測定系が日本のみならず米国においても知的財産権として保護され、当社のライセンス活動を強力にサポートすることが可能となります。

なお、本件の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想には変更がありません。

◆ご参考

: ジアセチルスペルミン

ジアセチルスペルミンは、ヒトの体内に存在するポリアミンと総称される物質の一種です。ポリアミンと総称される成分の尿中排泄量は、以前より癌と関係のあることが示唆されてきました。その中でも、ジアセチルスペルミンは、他のポリアミンと比べ、その尿中排泄量と癌との関連性が特に高いことが最近の研究より明らかになっております。

: 非侵襲的

血液採取のような外部刺激や身体的負担を伴う血液検査と異なり、尿検査のように生理現象等を利用し、人体に影響を与えることなく診断することが可能な方法です。

以上